

第8回新しい資本主義実現会議 議事録

(開催要領)

1. 開催日時：令和4年5月31日（火）17:50～18:24
2. 場 所：総理大臣官邸2階大ホール
3. 出席構成員：

議長	岸田 文雄	内閣総理大臣
副議長	山際大志郎	新しい資本主義担当大臣
副議長	松野 博一	内閣官房長官
	鈴木 俊一	財務大臣
	後藤 茂之	厚生労働大臣
	萩生田光一	経済産業大臣
	山口 壯	環境大臣
	翁 百合	株式会社日本総合研究所理事長
	川邊健太郎	Zホールディングス株式会社代表取締役社長
	澤田 拓子	塩野義製薬株式会社取締役副社長兼ヘルスケア戦略本部長
	渋澤 健	シブサワ・アンド・カンパニー株式会社代表取締役
	諏訪 貴子	ダイヤ精機株式会社代表取締役社長
	十倉 雅和	日本経済団体連合会会長
	富山 和彦	株式会社経営共創基盤グループ会長
	平野 未来	株式会社シナモン代表取締役社長CEO
	松尾 豊	東京大学大学院工学系研究科教授
	三村 明夫	日本商工会議所会頭
	村上由美子	MPower Partners GP, Limited. ゼネラル・パートナー
	米良はるか	READYFOR株式会社代表取締役CEO
	柳川 範之	東京大学大学院経済学研究科教授
	芳野 友子	日本労働組合総連合会会長

(議事次第)

1. 開 会
2. 議 事
新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画（案）
3. 閉 会

(資料)

- 資料1 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画（案）
資料2 萩生田経済産業大臣提出資料

資料 3	山口環境大臣提出資料
資料 4	翁委員提出資料
資料 5	櫻田委員提出資料
資料 6	澤田委員提出資料
資料 7	十倉委員提出資料
資料 8	柳川委員提出資料
資料 9	芳野委員提出資料

○山際新しい資本主義担当大臣

ただいまから、第 8 回「新しい資本主義実現会議」を開催いたします。

本日の議題は、新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画案です。

本案は、6月上旬の閣議決定を目指しており、本日御議論いただいた後、与党における審議に付します。その上で、最終案を作成し、閣議決定する段取りになります。

まず、クリーンエネルギー戦略などについて、萩生田経産大臣、山口環境大臣から報告をいただきます

○萩生田経済産業大臣

資料 2 をご覧下さい。

クリーンエネルギー戦略の中間整理では、成長が期待される産業の具体的な道筋、需要側のエネルギー転換、クリーンエネルギー中心の経済・社会、産業構造の転換、地域・くらしの脱炭素化などをまとめています。

また、エネルギー安全保障の確保と、それを前提とした脱炭素化に向けた対応も整理しました。

まず、「第 1 章」では、ウクライナ危機や電力需給の逼迫を踏まえた対応と今後の方向性をお示ししています。

再エネ、原子力などエネルギー安全保障及び脱炭素効果の高い電源の最大限の活用など、エネルギー安定供給確保に万全を期し、その上で脱炭素の取組を進めてまいります。

続いて、「第 2 章」です。

クリーンエネルギー中心の経済社会・産業構造への転換には、今後 10 年間に於いて、官民協調で 150 兆円規模の投資が必要です。

この投資を引き出すための政策対応の骨格として、①予算措置、②規制・制度的措置、③金融パッケージ、④G×リーグの段階的発展、⑤グローバル戦略の 5 つの柱をお示しました。

また、裏付けとなる将来の財源を確保しながら、20 兆円規模の必要な政府資金を、仮称ですが G×経済移行債で先行して調達し、速やかに投資支援に回していくことを検討していきます。

本年夏に設置される G×実行会議において、更に議論を深めてまいります。

○山際新しい資本主義担当大臣

続いて、山口大臣、お願いいたします。

○山口環境大臣

私からは資料3です。

新しい資本主義のグランドデザインに貢献すべく、政務三役で全国の都道府県を回るほか、産業界の方々と意見交換を行ってきました。その中で、自立した国産の再エネによる脱炭素地域づくりこそが地方創生の切り札であると実感しました。まさに、脱炭素を制する者が、次の時代を制するでしょう。今こそ、地域に巨額の投資を行い、「脱炭素ドミノ」を起こしていくときと心得ます。

世界的な脱炭素競争に勝ち抜くためには、地域への投資も含め、2050年までに400兆円以上の投資も視野に、成長志向型のカーボンプライシングの最大限の活用や規制の整備、資金支援策、巨額の財源措置などが一体となったグランドデザインを描くことが重要です。その中で、カーボンプライシングについては、炭素税、排出量取引、クレジット取引の全体を視野に入れた制度設計を進めなければならないと思います。

○山際新しい資本主義担当大臣

ありがとうございました。

本日の議題の案文については、委員の皆様にも、21日に送付させていただきました。その上で、議論させていただいて、修正済みの案文を今日、お配りしています。

今後の示唆も含めて、順に御発言をいただきます。

まず、翁委員、お願いします。

○翁委員

資料4を御覧ください。

コロナ禍で多くの課題が明らかになった今こそ、スピード感を持って改革を進め、イノベーションを起こして付加価値生産性を上昇させ、成長と賃金上昇を実現する機会とすべきと思います。

人への投資に裏づけられた労働移動円滑化、スタートアップ支援など、長年実現できなかった課題を本実行計画に沿って実現すべきと思います。

5年間の工程表を作る際には、適切なベンチマークを選んでモニターし、個別政策が有効に実行されているか、データに基づき検証し、必要な修正をして目標を実現する体制の構築が必要だと思います。

また、女性が潜在能力を発揮できる社会への変革は重要であり、女性・若者への投資、男女ともに柔軟な働き方の実現などが鍵で、希望出生率の実現にもつながる可能性があります。成長戦略でもあり社会保障改革とも関連するので、今後、一体的に検討・推進することが重要と思います。

長期資金を運用する公的・私的年金などアセットオーナーの責任投資は、企業の持続的成長と社会課題解決、金融資本市場の活力向上、母体企業の従業員など受益者の意向を踏

まえる点からも重要です。投資家が責任投資に一層貢献するための検討が深められることを期待しております。

○山際新しい資本主義担当大臣

ありがとうございました。

続きまして、川邊委員、お願いいたします。

○川邊委員

「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画（案）」を拝見しました。これまでこの新しい資本主義実現会議で議論された内容がたくさん盛り込まれていて、かつ、総理がロンドン等で行った講演の内容なども盛り込まれていて、大変意欲的な内容だと捉えておりました、心底支持をしたいと思います。

ただ、非常に意欲的かつ網羅的過ぎて、広範囲にまたがり過ぎていますので、是非総理ないしは政権としての優先順位、あるいは思いが一番強いところがこれだというのをよりはっきりされると良いのではないかと考えています。

私個人のお勧めとしては、やはりイノベーションとスタートアップ支援。ここが優先順位に上がると、未来に希望が持てるのではないかと考えております。社会的にイノベーションを包摂するということは、今のものに何かアドオンすることに加えて、どうしても既存のものも変えていかなければいけないという側面もありますので、どちらに対しても規制の改革とか緩和、その中には痛みを伴う規制改革みたいなものもあると思いますが、実行面においてはそういったものも恐れずに実行していただければと考えています。当然、民間企業としても、その後押しをしたいと思ひますし、より主体的に我々も取り組んでいきたいと考えております。

○山際新しい資本主義担当大臣

ありがとうございました。

続きまして、澤田委員、お願いいたします。

○澤田委員

本計画は本当に具体的なところまで踏み込んでいただいております、非常に意欲的なものであると感じておりますため、特に方向性に関してはコメントがございません。他方、やはり若手の育成が非常に重要と考えておりますので、その点で2点コメントと、今後継続的に御検討をお願いしたい点についてのみコメントさせていただきたいと思ひます。

大学の教育改革に関して、イノベーションを生み出すためにはやはり多様性が重要ですので、女子学生卒の確保のみならず、海外留学生確保に積極的に取り組む大学への支援強化、並びに女性登用に加えて海外からの研究者、教員登用についても促進していただいております。

2点目ですが、初等教育におきまして、起業家教育を行っていただくことは非常に素晴らしいことだと思いますが、併せてその際に自身のキャリアプランをきちんと検討する機会を組み込んでいただくことが非常に重要ではないかと考えております。その結果として、

必然的に科学技術系を専攻する人が増えると考えております。

最後に、企業に対して、マルチステークホルダー重視、並びに中長期的視点での経営に誘導するためには、コーポレートガバナンス・コードの見直しとともに、非財務情報の開示内容をどのように評価すべきかの指針を、是非欧米に先んじて検討結果を提示し、世界をリードしていただきたいと考えております。ESG投資などのように欧州のやり方が世界標準となり、後塵を拝するようなことを繰り返したくはないと思います。

関西におきましても、このような検討につきまして京大と共に研究を進めており、この取組を進めていきたいと考えております。

○山際新しい資本主義担当大臣

ありがとうございました。

続きまして、オンラインで洪澤委員、お願いいたします。

○洪澤委員

まず、多くの意見をまとめて幅広い課題を網羅した実行計画を作成していただいた事務局および関係者のご尽力に敬意を示したいと思います。この半年間、有識者メンバーとして新しい資本主義の実現議論に参加させていただいた私の中で確信していることがあります。新しい資本主義が目指していることは、分配か成長かではなくて、分配と成長の「好循環」です。そこが目指すところであるということは明らかだと思います。

なぜそれを目指す必要かと言うと、先ほど米良委員もおっしゃったように、外部不経済の是正です。この外部不経済を資本主義の中に取り込むということが、「なぜ」のところではあります。

そう考えると、よく「新しい資本主義とは何ですか」という質問を私も受けるのですが、それは一言で言うと、インクルーシブな包摂性がある資本主義ではないかと思います。それを達成するため、How、これがまさに実行計画ですけれども、その共通の軸がまさに人的資本の向上のところではないかと考えています。

その意味では、今回、個別分野の対応のところでは、グローバルヘルスを盛り込んでいただきました。これは非常に大きいことだと思っています。新しい資本主義はグローバルな展開が必要でありますし、まさに人への投資です。そして8月末に開催されますTICAD、来年のG7できちんと日本が世界の「人への投資」であるグローバルヘルスをこういう形で明記していくことは大変意義あることだと思っています。

○山際新しい資本主義担当大臣

ありがとうございました。

続きまして、諏訪委員、お願いします。

○諏訪委員

本計画案の製作に当たり、これまでの事務局の皆様の御苦勞に敬意を表します。

さて、今回、女性活躍推進について随所に織り込んでいただき、感謝申し上げます。女性経営者の更なる増加に向け、女性向け創業・事業承継支援を更に強化していただきたい

と思います。

次に、昨年来、実体験に基づき、取引適正化について発言させていただきましたが、このたび5つの取組を記載していただき、ありがとうございました。この5つの取組に盛り込まれている3月と9月の価格交渉促進月間は、中小企業が直接大企業に直訴できる極めて貴重な機会であり、中小企業を力強く後押しするものです。これにより価格交渉の浸透と定着を図っていくことが重要です。また、知財取引の適正化も、とても心強く感じております、5つの取組の更なる強化をお願いいたします。

さらに、取引適正化は、価格だけではなく手形支払など、中小企業にとって不利益な慣行が依然存在しており、今後ともその実態を把握し、その是正をお願い申し上げます。

これらの取組の強化は、政権から中小企業への応援メッセージになると思います。ですので、よろしく申し上げます。

最後に、岸田総理におかれましては、日本が再び先進国のトップになれるよう、日本の技術力やブランド力をさらに世界に発信していただくとともに、本ブランドデザイン及び実行計画のスピーディーな実行をお願い申し上げます。

○山際新しい資本主義担当大臣

ありがとうございました。

続いて、十倉委員、お願いいたします。

○十倉委員

岸田総理の掲げられる新しい資本主義の具体化に向けて、GX・DXの推進、人への投資等を速やかに実行し、我が国経済を力強く成長軌道に乗せていただきたいと思います。

私からは、特にGXの推進について、資料7を御覧ください。経団連が4月に提言を出した中で、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、7つの道筋、4つの視点、8つの政策パッケージが重要と提言しております。

資料の上段を御覧ください。2050年カーボンニュートラルの実現に向けた道筋として、ゼロエミッション電源の確保、電化の推進、熱源の水素・アンモニアなどの導入、カーボンリサイクル、ネガティブエミッションの推進などが重要であり、これらの各分野においてイノベーション・トランジション・投資の促進・そして産業競争力の強化、この4つの視点を踏まえた着実な取組が必要と提言しております。

資料の下段を御覧ください。こうした点を踏まえながら、8つの政策パッケージとして、原子力利用の積極推進、グリーンディール、カーボンプライシング等、2050年までに必要な技術・投資額・政策に関して、時間軸を付したロードマップを示して、司令塔を設け、総合的かつ統合的に進めるべきと提言しております。

政策の推進に当たりましては、先般の「クリーンエネルギー戦略」に関する有識者懇談会において総理が御発言されましたように、新たに官邸に設置されるGX実行会議において取組を進めていただきたいと思います。私自身もGXを推進するべく、政府と一緒に汗をかき所存です。

○山際新しい資本主義担当大臣

ありがとうございました。

続いて、富山委員、お願いいたします。

○富山委員

「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画（案）」は、素晴らしくまとまったと思っています。本当に敬意を表します。

色々な新しいことがあるので、色々なことを盛り込まなければならないのですが、それらが人と技術とスタートアップというところに収れんしたことは、私はすごくいいメッセージになっていると思っています。これは裏返して言うと、日本の社会、経済、人材にはものすごく含み益があって、それが、色々な意味で仕組みがアップデートされていないせいで生きてこなかった部分がありますので、それを開放すれば、この国には十分に伸び代があると私は思っています。是非この方向性でやっていただきたいと思っています。

既に、かなり個別の政策が盛り込まれていますが、この個別の政策が今はまだ尖っているので、尖りを失わずに、具体的な法律や予算になっていくかどうかがこの先の勝負だと思います。私も引き続き応援していますので、是非とも尖ったエグゼキューションをされるように、よろしく願います。

○山際新しい資本主義担当大臣

ありがとうございました。

続きまして、平野委員、お願いいたします。

○平野委員

新しい資本主義のグランドデザイン、この半年間の議論の成果として、我が国と世界の未来に貢献するものであるかと思えます。総理のリーダーシップと関係者の皆様方の努力に敬意を表したいと思えます。

スタートアップとテクノロジーがグランドデザインの中心になっていると私は感じているのですが、より大きな成長をしていくためには、グローバルなスタートアップを増やしていく必要があると思っております。海外、特にアジアの新興国の成長をいかに取り込むか、また、グローバルな起業家をいかに育成・輩出するかが重要な点だと考えます。

最後に、チャレンジをチャンスにするという点から、我が国の防災・減災の経験をドローンやAIなどの技術と結びつけ、全世界で深刻化する自然災害に対応すべく、レジリエンステックとして打ち出すことも、世界に大きく貢献できる領域として申し上げます。

今後の日本の成長の源泉にしていくために、これからの実行スピードに期待しております。

○山際新しい資本主義担当大臣

ありがとうございました。

続いて、松尾委員、願います。

○松尾委員

「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画（案）」を取りまとめいただき、感謝申し上げます。素晴らしい内容になっている。

科学技術において、戦略的な柱としてのAIの重要性について、また、大学や高専における起業家教育の重要性について、さらにDXにおけるスタートアップの重要性についてなど、しっかり書いている。

AIの技術進展は、今現在も急速に続いている。しっかりと最先端技術にキャッチアップする研究開発、そしてそれを実装につなげる取組によって、日本の産業競争力につなげていく必要がある。そのための具体的な仕組みづくりを、是非実効性のある形で実現していただきたい。

スタートアップの育成は、日本の成長にとって最も重要な鍵。全国各地の大学や高専の果たす役割も大きい。地域からスタートアップを生み出すことで、日本経済を元気にしていくことができるはず。そのための実効性のある取組を期待している。

最後に、私自身もAIの研究と人材育成、スタートアップの育成において良い事例を作って、日本の産業競争力の一助になれるよう努力してまいりたい。

○山際新しい資本主義担当大臣

ありがとうございました。

続きまして、三村委員、お願いいたします。

○三村委員

まず、非常に良いまとめになっていると思っております。さらに、今回の取りまとめに当たって、私どもとして21項目の要求を出させていただきました。勝率は別にいたしまして、非常に真摯に丁寧に対応いただいたこと、まず感謝したいと思います。

景況感につきまして、商工会議所の毎月の調査でも、2月を底に改善を続けておりますが、景気の先行きについて中小企業経営者の見方は、なお厳しい状況であります。これは主にエネルギーや原材料のコストプッシュの価格転嫁ができるかの不安によるものであります。

今回、価格転嫁の前提となる取引適正化の推進についてもしっかりと書き込んでいただきましたが、その取組も含めて、我が国の経済全体として、コロナマインドからの脱却と併せて、本格的にデフレマインドからの脱却を目指すステージへと移行しつつあると認識しております。このようなタイミングで、我が国の新たな成長に向けた新しい資本主義のグランドデザインが策定されることは非常に好ましいと考えております。

ただ、1点残念に思いますのは、原子力発電については、安全性を最優先にしつつ、早期再稼働と設備利用率向上に向けて取り組むことを明確に書き込んでいただきたかったという点であります。政権の今後の力強い意思表示に強く期待するものであります。

○山際新しい資本主義担当大臣

ありがとうございました。

続きまして、村上委員、お願いいたします。

○村上委員

この会議が始まった去年の10月というのは、ポストコロナを見据えて持続可能な社会の在り方を議論するというのがスタートラインでした。それから半年たったものの、その間にウクライナ危機、また世界的な株式市場の大暴落などが起こりました。これらを背景に、現在、私たちを取り巻く状況は急変していると思います。

「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画（案）」にも書いてありますが、日本は今、権威主義的な資本主義あるいは国家主義的な資本主義、この台頭を念頭に置きながら、日本として新しい資本主義の実現を追求するということが求められていると思います。そのためには日本が追求すべき普遍的な価値を認識する必要があると思っており、自由主義や民主主義といった社会のフレームワークの中で、人への投資、デジタル化あるいはスタートアップの促進などといった重要な事項を国が一体となって追求することが重要だと考えております。

全ての政策を今後実行するに当たり、結果ではなく機会の平等、あるいは多様性の促進、特にジェンダー平等の担保、これを全てにおいて横断的に実行するということが、日本としてとても重要だと考えております。

新しい資本主義の議論が国内だけで終わることなく、世界の、特にアジアの中のリーダー国として日本が果たすべき役割というところもしっかり考えながら議論することが必要だと考えます。

今回のグランドデザインでは、そのような要素が包括的にまとめられていると思います。しかし、方向性が示されているだけではなくて、結果を伴う実効性のある政策に落とし込む作業はこれからだと思いますので、是非これからも頑張っていきたいと思っております。

○山際新しい資本主義担当大臣

ありがとうございました。

続きまして、米良委員、お願いいたします。

○米良委員

「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画（案）」に全面的に賛同いたします。

特にグランドデザインに記載されている「市場も国家も」による課題解決と新たな市場・成長については、私が初回の会議からお伝えし続けていた経済外部性の領域に対し、官民が連携して成長のエンジンとすべく取り組むことが述べられており、まさに新しい資本主義を象徴する内容であると思っております。

日本に変革を起こすためには、この方針を堅持し、非財務価値の議論、新法人格の検討、課題解決を実現するソーシャルスタートアップをはじめとするプレーヤーを支えるエコシステムなど、様々な検討を統合して考え、進めていくべきだと考えています。「ローマは一日にして成らず」と言われています。岸田政権の目指す新しい資本主義を実現する日本を創るために、新しい資本主義実現会議を継続し、本グランドデザイン及び実行計画の進捗状況をフォローいただきたいと思います。

これまで課題先進国と呼ばれ続けた日本が、その弱みを強みに変えられるかどうかは、岸田政権の思いと行動、そして国民の熱量にかかっていると思います。私も民間として、資本主義が内包する課題を資本主義で解決すべく邁進してまいりますので、官民連携を引き続きどうぞよろしく願いいたします。

○山際新しい資本主義担当大臣

ありがとうございました。

続きまして、柳川委員、お願いいたします。

○柳川委員

資料8を御覧いただけますでしょうか。これに基づいて簡単にお話しさせていただきます。特に今後の推進、具体化が必要な点についてお話しさせていただきます。

1つは、人への投資の推進です。当然ですが、企業収益の増大だけではなく、一人一人の安心や未来の希望につながるものにしていかなければいけない。そのために、企業の枠を超えた国全体の人的資本の推進を具体化する取組が今後必要になってくると思います。

それから、何人かの方が御指摘になったように、スタートアップを大きなうねりにしていくことが非常に大きな柱になっているのは、とても大事なことだと思います。それを単に数を増やすだけではなく、全体のエコシステムを大きく変えていく。そのためには融資の在り方や人の移動、あるいは大学の役割、知財の取引の在り方等々、考えるべきことが多いと思います。この点について、実行計画の策定、推進がこれから一層求められていると思います。

起業家教育は非常に重要ですが、起業をするのが大事だというだけではなく、失敗がむしろ未来の可能性を開くものなのだと、こういう発想を多くの方が持てるようになっていくという教育も大事だと思いますし、米良委員がお話しになったような社会課題解決を事業化するための教育もこれから一層重要ではないかと思います。

2ページ目ですが、官民連携という言葉が多く出てきます。やはり民の力をどうやって生かしていくか、そのための環境整備がこれから非常に重要になってくると思います。そのために官の側のイノベーションを促す。やはり官のほうにももう少し成果主義の導入や、仕組みもこれから考えていくべきかと思います。

○山際新しい資本主義担当大臣

ありがとうございました。

続きまして、芳野委員、お願いいたします。

○芳野委員

約半年間にわたる議論を重ね、グランドデザイン及び実行計画が取りまとめられました。持続可能な社会・経済の実現に向けて、企業の健全な発展や安定した雇用の下で、誰もが将来の生活に希望を持てる環境整備や、賃金をはじめとする基盤づくりへの資源分配の必要性など、連合からの意見を一定程度反映していただき、感謝を申し上げます。

特に、継続した賃金引上げの実現に向けた環境整備としてのサプライチェーンにおける

適正な価格転嫁、雇用形態間・男女間賃金格差是正の実効性の確保、また、女性の科学人材育成への支援の重要性などにも触れていただきました。

今後の要望として、今回の計画で掲げられた各施策の具体策を検討する際には、労働者にどのような影響を与えるのかということも考慮した検討をお願いするとともに、P D C Aサイクルの下、実効性あるものとして機能されるよう、政府の努力をお願いしたいと思います。

○山際新しい資本主義担当大臣

ありがとうございました。

次に、厚生労働大臣、お願いいたします。

○後藤厚生労働大臣

新しい資本主義を実現し、成長と分配の好循環を創出する持続的な賃金上昇に向けては、労働生産性と労働分配率を一層向上させることが必要であり、労働力や技術力により生み出される付加価値をマークアップに反映した、適正な価格付けがなされることが不可欠です。

また、誰もが働きやすく、その能力を発揮できるよう、人への投資を強化するとともに、労働市場の環境整備を進めてまいります。

さらに、全ての世代が安心できる「全世代型社会保障」の構築は、分厚い中間層や格差を固定化しない公平で活力のある社会の形成を通じて、新しい資本主義の推進力となります。

このように、雇用政策・社会保障政策は、新しい資本主義と密接に関連し、重要な役割を担っています。こうした認識の下、厚生労働省として全力を尽くしてまいります。

○山際新しい資本主義担当大臣 ありがとうございました。

さらに御発言を御希望の方はいらっしゃいますか。よろしいですか。

それでは、新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画案につきましては、お手元の案で、多少修文もあろうかと思っておりますので、まとめさせていただいて、修文等々は私に御一任いただくという形でよろしゅうございましょうか。

(「異議なし」と声あり)

○山際新しい資本主義担当大臣

ありがとうございました。

それでは、総理から締めくくりの御発言をいただきます。その前に、プレスの方にお入りいただきます。

(報道関係者入室)

○山際新しい資本主義担当大臣

それでは、総理から締めくくりの御発言をいただきます。

○岸田内閣総理大臣

本日は、「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」（案）について、取りまとめました。市場だけでは解決できない外部性の大きい社会的課題について、この課題をエネルギー源と捉え、新たな成長を図ります。

人への投資については、今年の春闘においては、低下してきている賃金引上げの水準が反転しました。さらに、賃金の引上げを実現するためにも、成長分野への円滑な労働移動により、スキルアップや人材育成策の拡充を図ります。

また、本年末に、総合的な「資産所得倍増プラン」を策定します。NISAの抜本的な改革や高齢者に向けたiDeCoの改革など、資産形成を行いやすい環境整備を行います。

また、スタートアップについて、5年で10倍増を視野に、5か年計画を本年末に策定します。既存企業の事業再構築を進めるため、債務の減額等を図る事業再構築法制を国会に提出いたします。フリーランスの形態で仕事をされている方のための取引適正化法制も、早期に国会に提出いたします。

社会的課題の解決としては、マルチステークホルダー型の企業社会を推進するため、民間で公的役割を担う新たな法人形態について、必要性の有無も含めて検討する場を設けます。加えて、公正取引委員会のアドボカシー機能の強化を図ります。

そして、気候変動問題の解決と経済成長の実現に向けて、今後10年間に官民で150兆円超の投資の先導のため、GX実行会議を設置し、必要な政府資金の先行調達に関する一体的検討や民間投資への支援内容を含め、本年中に「今後10年のロードマップ」として取りまとめます。

デジタル田園都市国家構想を推進するため、光ファイバーや5Gなどのインフラ整備を図るとともに、デジタル技術の実装のため、地域協議会を作り、デジタル田園都市国家構想実現ファンドの創設を進めます。

これらの政策を実行するため、基金等を活用して予算単年度主義の弊害を是正するとともに、その将来にわたる効果も見据えて税制改正を行います。

与党とも調整を進め、来月上旬の閣議決定に向け、山際大臣を中心に、取りまとめをよろしく願いいたします。

○山際新しい資本主義担当大臣

ありがとうございました。

それでは、プレスの皆様、御退室をお願いいたします。

（報道関係者退室）

○山際新しい資本主義担当大臣

以上をもちまして、本日の会議は終了したいと思います。ありがとうございました。

○岸田内閣総理大臣

どうもありがとうございました。

(以 上)